

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 児童サポートセンターわたぼうし

公表日 令和8年2月13日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4		・今以上に子どもが増えると、職員が休む日もあるので、職員不足になると思う。 ・利用者数、利用頻度、利用希望日時等を勘案した職員体制になるよう務めること。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	5	・PDCAサイクル法による業務改善は行っていないが、職員は、日頃の話し合いの中で問題点を協議し、解決することに努めている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	・年に1回運営協議会で県の担当者や利用者代表が入り検討。 ・第三者ではないが、市の福祉行政担当者等で構成する「わたぼうし運営協議会」を年1回開催している。	・評価結果を参考に業務改善につなげていきたい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3		・積極的に研修に参加していきたい。
適切か	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	9			
	13 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1		
	14 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1		・個人的にこれから一人ひとりに応じた支援をしていけるよう、情報共有などしていきたい。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		
	16 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			

は 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・毎朝朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	・全員が集まって共有検討は難しいため、気付いたことをその都度話し合っている。（必要性を感じられない職員は話さない。）	・十分に振り返りができないときもある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1		
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9		・児童発達支援時から切れ目なく目標を持って支援している。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・児童発達支援時から切れ目なく目標を持って支援している。	
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・担当者が他児の訓練に入っている場合は、児発管が入っている。
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2		
28		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4		・地域に支援センターがない。
29		保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・コロナ禍以降なくなっているが、時々近隣の保育園から声をかけてもらっている。	
30		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・子どもの成長をその都度伝え、課題も一緒に保護者と共有していきたい。
31		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9			
32		【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・保育所等訪問支援は行っていないが、併行利用や移行に向けた集団保育を行っている。	
33		【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・必要が生じた場合に情報交換をしている。	
34						
35		【児発センターのみ】 のチェック項目				
36						
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	4		・送迎がないため。 ・保護者同伴通園なので、送迎サービスは行っていない。	
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	・必要に応じて行っているが、現状と先を見通したことがほとんど。 ・必要が生じた場合に情報交換をしている。		
39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	・保護者からの依頼により行っている。		
40	【放デイのみ】 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2			

保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	・見学時、施設概要とともに時間をかけて説明している。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・職員間や保護者間で情報共有したり、同じ方向性をもって支援していけるようにしていきたい。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	4	・保護者のニーズと支援計画がかけ離れた際には、説明し同意を得ている。 ・支援内容の説明は、モニタリング時等で十分に行っている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	・全体的にはモニタリングに十分話し合っている。 ・保護者同伴通園なので、悩み等があればその都度相談に応じている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	・きょうだい同士で交流する機会は設けていないが、きょうだい通園を認めているため、自然と交流ができています。	
	46	子どもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9			
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・コロナ禍以降できていない。 ・行事ではなくても、何かちょっとしたことで地域とのつながりができないかと思う。
非常時等の対応	51	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		・積極的に訓練に参加していきたい。
	52	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	・不定期ではあるが、年1回以上訓練を行っている。	・積極的に訓練に参加していきたい。
	53	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	・利用申請時に確認記録している。	・確認しきれていないところもあるので、しっかりと確かめていきたい。
	54	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	・給食の提供はないが、クッキング等保護者と確認しながら対応している。	・アレルギーの子どもがいたら、慎重に対応していきたい。
	55	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		・積極的に研修や訓練に参加していきたい。
	56	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	・安全確保については、事故防止マニュアルなどのマニュアルを策定しており、日頃、備品・玩具・散歩コースなどの安全確認も行っている。	
	57	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1		・これから情報を共有し、気を付けていきたい。
	58	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1		
	59	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2		・必ず保護者に必要度について説明了解を得ているが、計画には記載できていない。 ・どのようなになっているのか確認していきたい。